

『言いまつがい』

糸井重里/監修
ほぼ日刊イトイ新聞/編
新潮社

好きな俳優さんの話になった時。「私、あの人好き！えっと…太宰…」とAさん。俳優で太宰っていたっけ？と考えると「ヨーグルトのCMに出てる！あと奥さんが沖縄の人！」…向井理でした。

別の日。「山田リョウスケの本ない？」とBさん。…何か違う。でも何が違うのかわからない…。少し考えてようやく気づき、「ねえ、それ、山田悠介じゃない？山田リョウスケはHey! Say! JUMP…」と言うと、「あ！そうだ！まちがえた！」とBさんは恥ずかしそうに笑いました。

そんな日常で起こった『まつがい』満載の1冊。オススメ！



おすすめ!

本の貸出は

☆3年生は

→ **2月15日まで**
最終返却日は2月23日

☆1・2年生は

→ **3月2日まで**
最終返却日は3月9日

※3月には蔵書点検があるので必ず本を返して下さい。特に3年生は卒業前にきちんと返却して下さい。返却せずに卒業した先輩方がたくさんいて、多くの本がなくなっています。なくしたり、なにか問題があれば必ず相談にきてください。お願いします。

※返却されない場合は紛失として弁償対象となる可能性があります。

不思議なこと…

一番近いので生徒会室隣のトイレを利用することが多いのですが、いつもトイレットペーパーホルダーにはカラの芯だけがついています。タンクの上には予備のペーパーが2〜3個置かれていて、しかも使われている形跡があります。どう考えてもホルダーについているほうが使いやすいと思うのですが、付け替える人はほぼいません。トイレットペーパーを替えると未代まで崇られる…という言い伝えでもあるのか？と思うほど、頑なに付け替えません。不思議です。体をひねって真後ろにあるペーパーを取るの？想像しただけで腰が痛くなりそうです。取りそこねたのか、床に落ちて濡れたペーパーももったいない…。ペーパーを取り付けるのなんて10秒あればできるのに…と毎回不思議に思います。ほかの人のためにペーパー替えるとかゴミを拾うとか本をきちんと片づけるとか…そういうことができるようになれば必ずなにかが変わるのにな…。Everyday ちょボラ！を推進します。

【図書館のカウンターから】

「先生、アイツ来てる？」と常連のLさん。アイツとは彼氏のこと。「今日は来てないよ」と答えると、「あ“あ”〜!!!」とくやしそうに唸ります。「もー聞いて！一緒に帰ろうと思って門のところで待ってても来ないから教室まで行ったわけ！でもいなくてさ！図書館にいるかなーと思って来たのに…先に帰ったんだあアア！」と本当にくやしげ。「待ち合わせしなかったの？」「うん」「…それは仕方ないんじゃない？」「でもさ！腹立つっ〜！」「いつものことじゃん。じゃあもう別れれば？（←ひどい大人）」「それはイヤ！絶対にイヤ！そういうところも好きなんだもん！」「なら、いい加減諦めなさいよ。こんなことでそんなに怒ってたら高校離れたらもたないよ？」「いや！大丈夫だもん！わたしはヤツ以外は好きにならないもん！」「え〜？まだ中学生じゃないの。そんなのわかんないよ。35億だよ、35億。これから先、誰を好きになるかわかんないってー（←ひどい大人）」「そんなことないー!!」「じゃあもう彼のそういうところは諦めて、怒るな」「でもでも！腹立つんだもん!!」…というやり取りをしばらく続け、Lさんは帰っていきました。いつも全身から『大好き』が溢れて可愛いですが、彼の前だと素直になれないそうです(笑)。彼の言動1つで一喜一憂し、勉強もせねばならず、あれこれ悩みながらも一生懸命で微笑ましい。青春だなあ…☆せめてバレンタインデーには彼に対して素直になってほしいものです。楽しい日になりますように。(愛)※よく聞かれるのですが仮名は名前とは関係ない文字です。今回のLさんはlovesickのLです(笑)